平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年２月12日

上場会社名	株式会社　ムサシ		上場取引所　大
コード番号	7521	ＵＲＬ　http://www.musashinet.co.jp	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）小林　厚一	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役財務部長	（氏名）青坂　修司	ＴＥＬ　03-3546-7710
四半期報告書提出予定日	平成25年２月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	27,070	△3.0	677	16.0	827	24.6	210	△29.0
24年３月期第３四半期	27,895	△9.2	584	△54.8	663	△52.7	295	△46.0

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　249百万円（△15.0%）　24年３月期第３四半期　293百万円（△42.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	26.44	―
24年３月期第３四半期	37.24	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	38,449	23,746	61.8
24年３月期	39,198	23,656	60.4

（参考）自己資本　　25年３月期第３四半期　23,746百万円　　24年３月期　23,656百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年３月期	―	10.00	―		
25年３月期（予想）				10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,012	2.3	1,575	98.1	1,743	95.8	730	88.1	91.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　有
④　修正再表示　：　無

（注）　「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	7,950,000株	24年３月期	7,950,000株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	6,398株	24年３月期	6,003株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	7,943,778株	24年３月期３Ｑ	7,944,063株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．２「１．当四半期決算に関する定性的情報（3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化するデフレ基調からの脱却が進まず、欧州・米国・中国など国外の経済不安も続いており依然不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

（情報・印刷・産業システム機材）

情報システム機材は、文書のデジタル化業務の受注が、官公庁の予算執行の遅れや民間企業の投資抑制により落ち込んだほか、スキャナーなどドキュメントの電子化機器の販売も減少しました。

印刷システム機材は、印刷需要が低迷し設備投資意欲が冷え込む厳しい環境が続いており、デジタル印刷機器・材料の販売とも若干低調に推移いたしました。

（金融汎用・選挙システム機材）

金融汎用システム機材は、一部の貨幣処理システムの販売に伸長が見られたものの、金融機関など主力市場の需要低迷の影響により、貨幣処理機器、セキュリティ機器の販売とも全般的に落ち込みました。

選挙システム機材は、12月に衆議院選挙と東京都知事選挙が実施され、投票用紙読み取り分類機や交付機などの機器をはじめ、投票用紙、業務管理ソフトなどの販売が全般的に好調に推移いたしました。

（紙・紙加工品）

紙・紙加工品は、広告宣伝需要の低迷と安価な輸入紙の流入による市況悪化の影響を受け、主力である印刷用紙の販売は低迷しましたが、感光材料用の特殊包装紙や高級紙器用板紙の販売が伸長したため、概ね順調に推移いたしました。

（その他）

不動産賃貸業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は売上高270億70百万円（前年同四半期比3.0％減）、営業利益６億77百万円（前年同四半期比16.0％増）、経常利益８億27百万円（前年同四半期比24.6％増）となりましたが、「その他」セグメントにおいて固定資産の減損損失２億47百万円を特別損失として計上したため、四半期純利益は２億10百万円（前年同四半期比29.0％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は284億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億14百万円減少いたしました。減少の主な要因は、有価証券の減少（２億99百万円）、現金及び預金の減少（１億59百万円）及び流動資産の「その他」の減少（１億49百万円）、増加の主な要因は、たな卸資産の増加（４億65百万円）であります。固定資産は、99億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億34百万円減少いたしました。減少の主な要因は、減損損失に伴う土地の減少（２億47百万円）及び投資その他の資産の「その他」の減少（２億50百万円）であります。

この結果、総資産は、384億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億48百万円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は127億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億46百万円減少いたしました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（５億48百万円）及び賞与引当金の減少（２億12百万円）、増加の主な要因は未払法人税等の増加（61百万円）であります。固定負債は19億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億92百万円減少いたしました。減少の主な要因は、固定負債の「その他」の減少（２億29百万円）であります。

この結果、負債合計は、147億３百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億38百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は237億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益２億10百万円及び剰余金の配当１億58百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.8%（前連結会計年度末は60.4%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの通期業績見通しにつきましては、今後も全般的には厳しい市場環境が予想されますが、選挙システム機材につきましては衆議院選挙・東京都知事選挙向け機材の売上が伸長するほか、各地方選挙向けにも機材の販売が見込まれるため、平成24年11月13日に公表いたしました平成25年３月期通期の連結業績予想を本資料において修正いたしました。なお、当該予想数値に関する事項は、本日(平成25年２月12日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ５百万円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,343	14,183
受取手形及び売掛金	11,388	11,312
有価証券	299	―
商品及び製品	1,509	1,892
仕掛品	79	73
原材料及び貯蔵品	288	376
その他	823	673
貸倒引当金	△48	△44
流動資産合計	28,683	28,468
固定資産		
有形固定資産	3,782	3,551
無形固定資産	136	102
投資その他の資産	6,595	6,326
固定資産合計	10,514	9,980
資産合計	39,198	38,449
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,359	7,810
短期借入金	3,532	3,532
未払法人税等	47	108
賞与引当金	406	194
製品保証引当金	150	122
その他	857	936
流動負債合計	13,352	12,706
固定負債		
退職給付引当金	211	197
役員退職慰労引当金	863	914
その他	1,114	884
固定負債合計	2,189	1,996
負債合計	15,542	14,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	20,418	20,469
自己株式	△8	△8
株主資本合計	23,624	23,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	71
その他の包括利益累計額合計	32	71
純資産合計	23,656	23,746
負債純資産合計	39,198	38,449

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	27,895	27,070
売上原価	22,346	21,526
売上総利益	5,549	5,544
販売費及び一般管理費	4,965	4,866
営業利益	584	677
営業外収益		
受取利息	45	34
受取配当金	44	41
保険解約返戻金	－	60
貸倒引当金戻入額	－	5
その他	47	65
営業外収益合計	136	207
営業外費用		
支払利息	29	29
持分法による投資損失	22	24
その他	4	3
営業外費用合計	56	57
経常利益	663	827
特別利益		
固定資産売却益	－	1
資産除去債務消滅益	22	－
特別利益合計	22	1
特別損失		
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損	－	1
投資有価証券評価損	36	42
会員権売却損	1	1
会員権評価損	5	7
減損損失	－	247
特別損失合計	44	300
税金等調整前四半期純利益	641	528
法人税、住民税及び事業税	136	204
法人税等調整額	209	114
法人税等合計	345	318
少数株主損益調整前四半期純利益	295	210
四半期純利益	295	210

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	295	210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	41
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△2
その他の包括利益合計	△2	39
四半期包括利益	293	249
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	293	249

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	18,987	3,769	4,964	174	27,895	－	27,895
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	0	197	199	△199	－
計	18,989	3,769	4,964	371	28,094	△199	27,895
セグメント利益又は損失（△）	170	295	△4	120	581	2	584

（注）１．　セグメント間取引消去であります。
２．　セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,559	4,544	4,791	175	27,070	－	27,070
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	－	－	191	196	△196	－
計	17,564	4,544	4,791	366	27,266	△196	27,070
セグメント利益	41	489	12	131	675	2	677

（注）１．　セグメント間取引消去であります。
２．　セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
「その他」セグメントにおいて賃貸駐車場（土地）について、地価の下落により減損の兆候が認められたため、当該土地に係る回収可能性を検討した結果、当第３四半期連結累計期間において減損損失を特別損失として247百万円計上しております。